

RIETI政策シンポジウム
働き方改革と健康経営

健康経営を**産業医学・疫学**の視点から考える
投資対効果、中小企業への適用

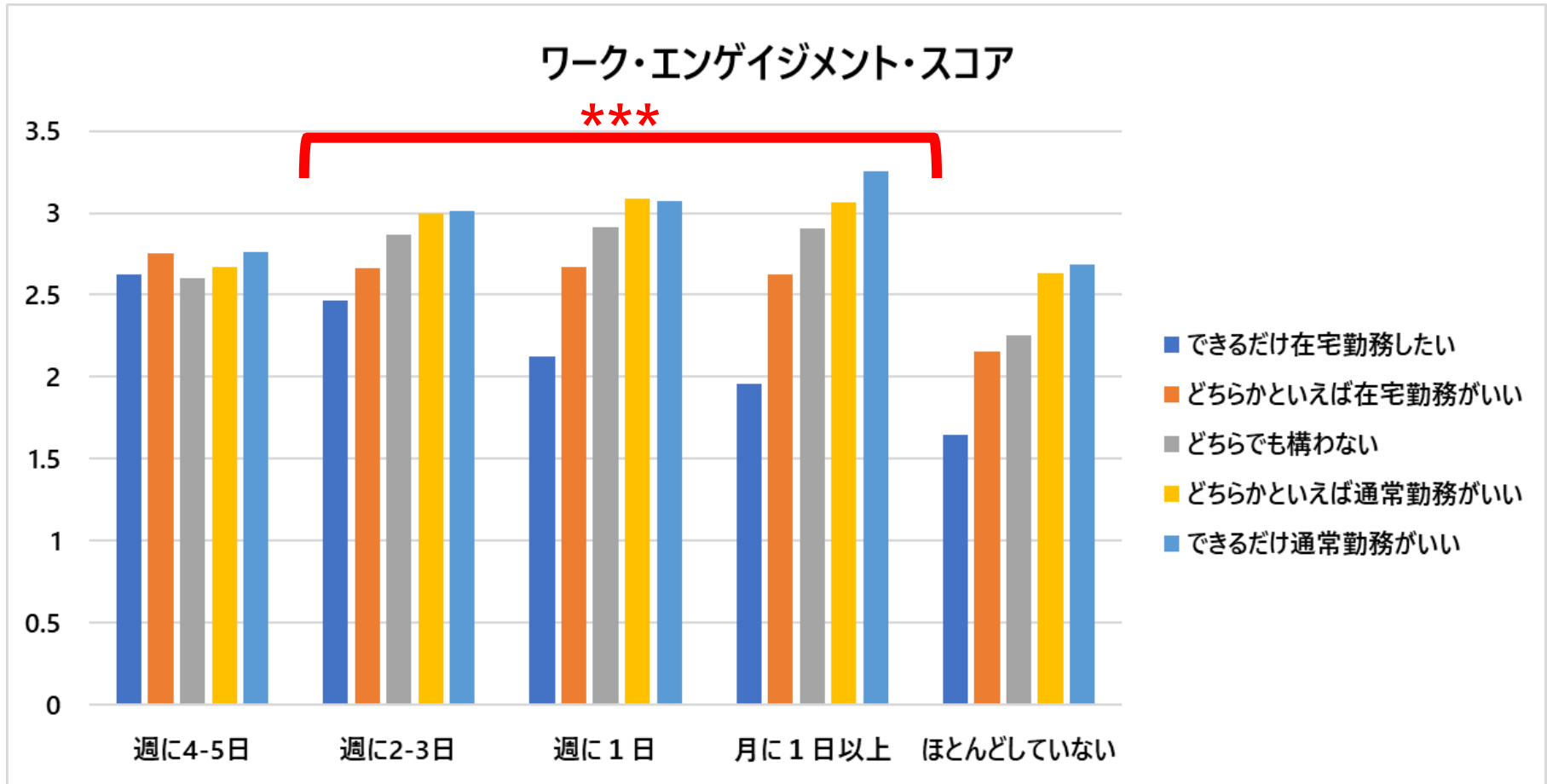
産業医科大学
産業生態科学研究所 産業保健経営学
永田 智久

1. 新しい働き方とは？
2. 今後、中長期的にどうなるか？

【意見】

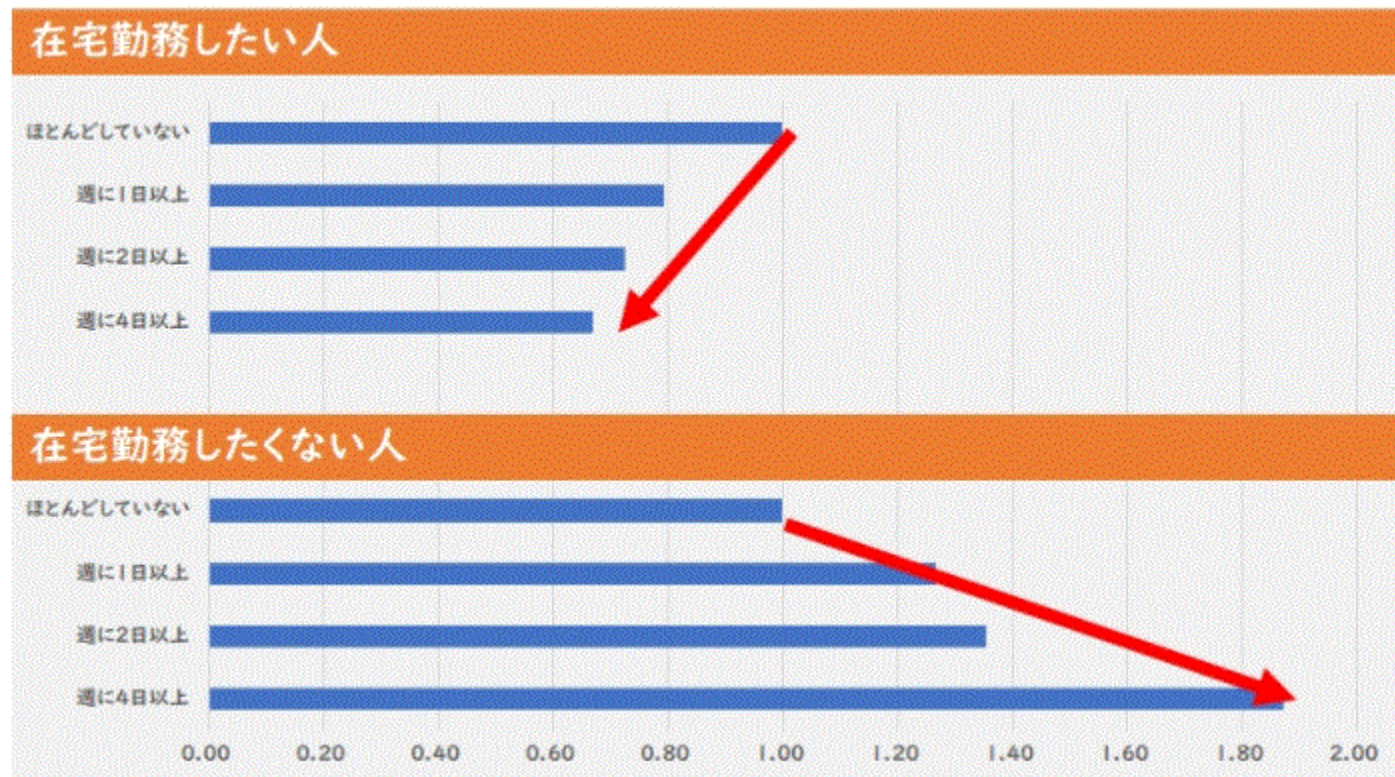
- 働き方の個別化が進む
- 場所・時間の柔軟性を高める「ハイブリッドワーク」へ

適度な在宅勤務が高いWE 本人の状況に大きく依存する



在宅勤務の嗜好と在宅勤務日数のミスマッチはメンタルヘルスに関連

在宅勤務日数とメンタルヘルス不全のオッズ比



意見

- 今まで以上に個人(健康, 家庭環境, 本人の考え方等)と仕事との適合を評価することが必要
 - リモート環境での評価が難しい
 - ラインケア(1 on 1 mtg)
- コミュニケーションの目的を考え、機会をデザインする

孤独(loneliness)は、在宅勤務も影響するが、それ以上の上司・同僚の支援が影響する

意見

- 在宅勤務できる人 vs できない人 の格差
- 働きかたの柔軟性を高めるためにマネジャーが必要な4つの視点
 - 職種と業務の性格
 - 社員の個人的希望
 - プロジェクトとワークフロー
 - 包摂と公平性
- リンダ・グラットン(2021.8 Harvard Business Review)